

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
生物学	2	前期	講義	2	中村 麻理子
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>生物学の内容を俯瞰させ、概要を理解させたいうえで、幼児教育者の専門家を養成するという具体的な目標の下に、基礎教育科目の「生物学」と専門教育科目の領域「環境」がそれぞれ密接なつながりを持つことを考慮しながら、生物学についての理解を深める。</p>					
<p>○授業の概要</p> <p>生物学とは生物を対象にして研究する学問であり、現象や研究手段により分類学・形態学（解剖学）・発生学・生理学・生化学・生態学・遺伝学・生物地理学などに分けられる。これらの内容を俯瞰させ、生物学の基礎的な知識を理解させる。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーションーなぜ「生物」を学ぶのかー</p> <p>第2回：生物学と生命の探究（生命とは）①生物学とは②生命体のもつ一様性と多様性</p> <p>第3回：人間の生活と生物（人間と生き物との関係）①季節と生活（自然の中で）</p> <p>第4回：②食生活（食べる生き物）③生物の利用・改良（豊かにする生き物）④衛生昆虫・病原体</p> <p>第5回：分類学（生物の系統と分類）①いろいろな界の分類②系統樹とは</p> <p>第6回：③大分類④動物の分類⑤植物の分類</p> <p>第7回：形態学（生き物の形）①動物と植物の違い②動物の形態③植物の形態</p> <p>第8回：④生物のオスとメス⑤生物界の多型現象</p> <p>第9回：形態学（人間の体のつくりと機能）①骨格②頭蓋</p> <p>第10回：③頭蓋泉門④解剖学用語と人体の部位</p> <p>第11回：生態学（生物と環境）①生物と環境②作用・反作用・相互作用</p> <p>第12回：③生態系の構成要素・食物連鎖・食物網④生物の地理的分布</p> <p>第13回：生態学（動物の行動）①本能行動②経験にもとづく行動</p> <p>第14回：幼児と生きもの（幼児教育と生物学の接点）①子どもと自然②子どもの五感③子どもの園内活動と園外活動④季節の変化と子どもの活動</p> <p>第15回：⑤子どもと動植物（草花遊び・虫遊び）⑥保育者を目指す学生が必要とする動植物の基礎知識</p>					
<p>○テキスト</p> <p>適宜プリントを配布</p>					
<p>○参考書・参考資料等</p> <p>「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館</p> <p>「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館</p>					
<p>○学生に対する評価</p> <p>授業の小課題（20%）、筆記試験（70%）、レポート提出（10%）などを総合して評価する。</p>					